

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月1日

事業所名 Ecoleみるく

職員数11 回収数5 割合45%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		1	・児童同士でも部屋を分ける必要が生じることがあり、その際は事務スペースにも児童を入れたりしていた。	・部屋数に限りがあるので、細かい利用者のニーズに応えるために、事務室を使うこともあります。その際には職員の方にはご不便おかけいたしますが、利用者優先にさせていただきます。
	2	職員の配置数は適切である	4	1			・児童指導員の資格を有する講師、県芸学生のサポートスタッフを配置しており、十分対応できるよう配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	1	・階段があります ・今ある状況で最善を尽くしている。	・施設の構造上、バリアフリーが完全には行き届いていない箇所がありますが、必要に応じてスタッフが補助を行える体制を整えております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		・コミュニケーションがよく取れており、日々改善されている	・週に1度の職員ミーティングを行い、実践のフィードバック、確認事項等、非常勤を含むスタッフ間で共有し、今後の支援に生かしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			・利用者のニーズを汲み取るためのアクションを行っている。	・保護者様から集計させていただいたアンケート結果をもとに、今後の支援の改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		・そのような結果を公開する必要性はあるのか。	・自己評価及び保護者評価を行い、その結果と改善内容を公表することが義務付けられております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	1	・不明	現在は、外部評価機関は利用しておりません。今後検討していきたいと思っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			・1年に1回研修を受けられます。	毎年、年末と年度末に、全職員対象の研修を実施し、療育の資質向上に努めています。また、個々においても、県内外の研修や演奏活動や表現活動に積極的に参加し、日々研鑽を積めるよう努力しております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			・定期的なモニタリングを行っている。	・かかりつけ医や心理士が使用したアセスメントツールを保護者に提供させていただき、支援に生かせるように努めております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1			発達の手帳性を重視しながら、お子様の成長に合わせ、プログラムを展開しています。お子様それぞれの好きなこと、得意なことからアプローチし、安心してコンスタントに集所出来るよう配慮し、次第に活動の幅を広げていけることを目指しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		・常に内容は変わり利用者に応じたレベルアップがなされている。	利用者のニーズに応えつつも、利用者の発達の順序性を踏まえて支援できる方法を日々支援員の方々と考えて支援できる体制を整えております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			・利用者の日々変化するニーズをくみ取り対応している。	・平日は家に出て活動の幅を広げる、休日・長期休暇は学校の課題のサポート等、生活状況に応じた支援を設定して実践しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			・利用者さんのご要望に応じて、個別に活動する時間や、同じ時間帯に来る利用者さん同士で交流しながら集団活動する時間を設定し、計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・オンラインツールを活用して行っている。	・支援開始前、当日の利用者の確認と、職員割り当て、支援内容の確認等を毎日行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		・オンラインツールを活用して行っている。	・その日のレッスンをスタッフで振り返り、記録に残して次のレッスンに生かしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・オンラインツールを活用して行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			・行われている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1		・結果的には行っていると思うが、明確な活動の位置づけがされる必要があると感じる。	・利用者の状況に応じて必要な支援を取り入れておりますが、その位置づけなどについて、今後さらに療育の視点に立った支援ができるように努めます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2		・必要な児童に関しては行っている。 ・学校の現場とのコミュニケーションをとるよう努めているが、状況はまちまち。良好なものもあればそうでないものも。こればかりは人が関わることなので一筋縄ではない。	要望に応じて保育所等訪問支援を活用し、学校や他機関との連携を取り、双方に混乱が無いよう環境調整等を行わせていただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	1	・医療的ケア児の受け入れは行っていない。 ・最低限行われているが、改善の余地はある。	・医療的ケア時には今のところ利用者がおりませんが、対応が必要になれば、医療機関や主治医とも情報共有しながら、支援内容を検討し、こちらでできる支援を行います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	1	・最低限行われているが、改善の余地あり。	要望に応じて保育所等訪問支援を活用し、学校や他機関との連携を取り、移行支援を行っております
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2		・行った児童もいる。	計画相談員さんを変えて、移行支援の会議を行い、スムーズに就労支援につながるように、情報提供を行っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	1		那覇市からご案内があった際には、必要な研修は参加していきたいです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	2		当事業所の集団プログラムは、「てい〜だキッズミュージアム」とのインクルーシブなレッスンを実施しており、双方にとって成長の機会となるような場を目指しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	1		今後参加できるように努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2			今年度は希望者に対し、オンラインでの学習会などを実施してまいりました。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・契約時に説明を行っている。	ご契約時に内容をご説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	1	・保護者会は開催しておりません ・お茶会などを行い情報共有に努めている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1			苦情対応についての体制を取り決め、ご契約時にご説明しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		1		会報はありませんが、特別プログラムのお知らせ、レッスンの様子や、お子様の製作した作品などをLINEやInstagramなどのSNSなどを活用してお知らせしています
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	1		地域との連携について事業所がどのように行っていくのかは、検討が必要です。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1			毎年職員研修において虐待防止委員会を開催しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	1	・身体拘束が想定される者の利用はない。	毎年職員研修において虐待防止委員会を開催し、職員間で身体拘束等の必要な場合の確認などを行っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	1	・食品提供はない。	アレルギーのある利用者は契約の際に確認しておりますが、毎年、利用者の情報の共有を職員間で図っております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2	1		ヒヤリハットの事例がないが、支援している中で事例が発生したら、ミーティングにて直ちに共有して事故に繋がらないように対応いたします。